

平塚市長選挙

選挙公報

平成27年4月26日執行

平塚市選挙管理委員会



選ばれるまちになるために、そして住み続けるまちへ

絆 キズナ

人口減少の時代が到来し持続可能なまちづくりを進めていくことが必要です。平塚のまちや政策の魅力を活かして、戦略的に発信して、住み続けたい、住んでみたい、訪れたい、働きたいまちにします。

子育て支援や教育環境の充実
子育てしやすい、住み続けたい、住んでみたいまちにするために子育て世代から選ばれるまちにしていく。働きながら子育てのできる環境の魅力化、このまちの将来を担っていく子供たちの教育環境の充実に力をいれます。

高齢者・障がい者福祉の推進
住みなれた地域で医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」、介護予防事業「健康長寿チャレンジひらつか」認知症支援策を図ります。障がいのある方の社会参加、働く場所の確保、いきいき暮らせるまちづくりを進めます。

地域経済の活性化
企業活動や創業の支援、この平塚の地で安心して働ける環境づくり。一三四号沿線に平塚の魅力発信する場所を設け、訪れたい、市民が誇りを誇るまちづくりを進めます。

安心安全なまちづくり
発生が危惧される大規模地震対策、風水害による浸水対策、土砂対策の強化、体感治安を向上させる防犯対策、自転車を中心とする事故を減らす安全対策を進めます。

シティプロモーションの推進
人口減少の時代が到来し持続可能なまちづくりを進めていくことが必要です。平塚のまちや政策の魅力を活かして、戦略的に発信して、住み続けたい、住んでみたい、訪れたい、働きたいまちにします。

市長 1 期・市議会議員 2 期・元市議会議員

これまでも、これからも、平塚とともに ～田村に生まれ、神田小、神田中、平塚江南高、明治大卒。昭和56年平塚市役所に就職、22年間勤務。平成15年平塚市議会でトップ当選、平成19年2期目当選、議長、県市議長会会長、平成23年市長当選。「生活しやすさNo.1、選ばれるまちづくり」を目指す。小中学校PTA会長、自主防災ブロック長など地域活動にも取り組む。



落合かつひろ

57歳

4年間取り組んできた政策を継続、そして加速させ市民の皆さんにより満足してもらえらるまちづくり、確かな平塚の未来を子供たちにしっかりと引き継いでいくため「選ばれるまちになるために、そして住み続けるまちへ」を大きなテーマに平塚のまちづくりに臨んでいきます。



石黒あきお

無所属

緊急課題

問います！ ムダ遣い現市政か？ 責任ある新市政か？

ツインシティは新駅設置の確約まで凍結

高齢者にもやさしい歩道の整備
 中学3年まで医療費助成拡大
 中学校の完全給食を実施
 津波対策用ライフジャケットを沿岸部に配布
 相模小学校移転は区画整理と切り離す
 中心商店街の空き店舗に学習施設
 ごみ積み換え施設を整備(二宮または大磯に)

転換を 目指します！

プロフィール
 元平塚市職員。
 明治大学政治経済学部卒業。
 主な職場は、農産課と商業観光課。65歳。

投票日 4月26日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで